

運営方針・運営計画

		クラブ名： 東希望が丘小学校	放課後キッズクラブ
		運営法人名： NP0法人サポート東希ッズ	
		選定期間： R5年度 ～ R9年度	
【運営方針】		安全安心な場を提供して子どもたちがいろいろな体験を通して充実した時間を過ごせるよう整える。	
【説明（想い、意図）】		子どもたちの放課後の時間を遊びや活動を通して子どもたちの社会性、自主性を養う場にしたい。	
【取組方針】	こども	子どもたちが少しでも充実した時間を持てるよう日々の特別活動によるイベント等を行いたくさんの経験を積む場に整える。	
	保護者	保護者の就労支援としての安心・安全な居場所作りに努める。	
	学校・地域や組織運営	安全管理を徹底して学校や地域の協力のもとに児童がキッズの活動を通してこの地区に育ったことを誇りに思えるようにしたい。	

【運営計画】		年度	項目①	項目②	項目③	総評	評議会意見・次年度への提案
1 年目	2023、	放課後キッズクラブ 運営指針項目	①プログラムの充実	⑦保護者との連携	⑧地域との連携	年間を通してコロナ禍を経て利用者が減少していました。5年度はコロナ前に行っていた夏のイベントですいか割りや水遊びなどを復活し、年明けには青少年指導員のもと「旭区おおなわとび大会」にも参加できました。保護者の要望が多い夏休みのお弁当についても在校生の保護者の紹介によるパン屋さんのお弁当を週に1回実施しましたがとても好評でした。また、ほとんどの児童が帰宅してしまう6時以降児童についてはデジタル機器や動画鑑賞も積極的に取り入れています。特別教室については「英会話教室」「そろばん教室」「造形教室」なども継続しています	コロナあけでの久しぶりの対面開催となりました。法人では理事長の交代の報告、及び新理事長、副理事長の紹介をした。また新たに評議員のかたの入れ替えがありましたが特に問題なく委員の方々と意見交換できた。 ・キッズ利用時の活動場所については常に居場所が不足している状況で学校の空き教室の利用についてなどを提案した ・参加児童について 児童のけがなど報告した。特に児童の安全管理など意見交換した。
		取組内容	特別活動として費用を抑えてたれでも利用できるように英会話やそろばん、造形教室などを継続的に実施しているほか、他にもすべてのスタッフが協力して月ごとにテーマを作って身近な工作などを取り組んだ	キッズクラブ入会にあたって学年を問わず保護者の皆様へより利用しやすいよう東希小キッズクラブ専用の保護者向けサイトの充実を図った。	東希望が丘小学校では地域の自治会活動が活発に行われており校庭では夏祭りなどの会場になることが多くキッズクラブでも積極的に連携できるよう務めた。		
		振り返り (こどもの意見の反映状況等)	長期休みのお楽しみイベントとして「夏休み水遊びイベント(かき氷)」や「すいかわり」、「クリスマスお楽しみガチャポン大会」を実施。その他「将棋教室」、「ハロウィンイベント」、「書き納め」「春休みお楽しみイベント」を実施。また、地域の方の協力により「食育のつどい」など行った。季節ごとのイベントを通して子どもたちとスタッフとの交流の場としても良い機会となった。	「おやこで作ろうボトルデコ」特に「防災教室」は安全について保護者の参加を呼びかけ一緒に学べるよう防災訓練など保護者と共に取り組んだ。またプログラムなどにも保護者の参加を呼びかけた。長期休みに週1回「パン屋さんのランチバック」など提供できるよう取り組んだ。	夏祭りに掲示するペットボトルで作る提灯などキッズの子どもたちが作成した。防災拠点の役員さんに地域での防災への取り組みについてお話ししていただいた。希望中学校区の3か所のキッズクラブとの交流ドッジボール大会を実施して交流を深めた。		
2 年目	2024、 R6	放課後キッズクラブ 運営指針項目	①プログラムの充実	⑩運営主体の役割	⑤配慮が必要な家庭への対応	少しずつコロナ前の状態にもどりつつある中で子どもたちのプログラムも充実できるよう務めた。その他できるだけ児童が楽しめるイベントなどを積極的に展開していきました。特別教室については「英会話教室」「そろばん教室」「造形教室」なども継続しています。ただ、残念なことに冬休みの活動中に児童が転倒して可動式のバスケットゴールの重しのコンクリートに顔を打ってしまい歯が欠けるという重大事故が発生してしまった。学校とも相談してバスケットゴールの撤去など検討中でありませ、今後も可能な限り児童の行動を予測して事故を防げるよう配慮にしたい。	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に 見直されたことに伴い、利用者もコロナ前に戻りつつあります。と同時に利用者の増加に伴い遊ぶ場所の確保が難しい状況です。夏休みについては例年区分2に移行する児童が増え、給食がないときの場所の確保も重要課題となります。幸い、今年度に関しては学校の協力によりお弁当場所はランチルームの利用、遊ぶ場所は図工室の利用が見込まれます。今後は子どもたちの一番の楽しみの夏休みについて楽しいイベントが開催できるよう企画中です。あえて児童の活動中に評議会のみなさんと一緒に参加していただきゲームなどをとおして学校とはちがう児童の一面に触れることができたのではないかと。
		取組内容	「防災教室」「将棋教室」など実施した。スキマ時間にはアイロンビーズや工作を楽しんだ。	運営主体について「はまっこ」開設時から運営役員として理事長の高齢化による引退で理事長の交代があった。またスタッフについても可能な限り児童の行動を予測して見守りをしていただけるよう務めた	入会説明会時に障害のある子どもの保護者の相談を重点的に受け入れた。		
		振り返り (こどもの意見の反映状況等)	「防災教室」では地域の消防署の協力により実際の消防活動を体験しながら学んだ。また「防災クイズ」「防災ブザーの使い方」などを動画を見ながらわかり易く伝えたことができた。「将棋教室」では将棋連盟の先生に勝負だけでなくマナーも教わることができた。またそろばん教室では進級し表彰されることによって他の児童の励みになった。	年に数回の理事会を通して運営に関しての現状や会計について、ルームの改装やプログラムの取り組み、児童の状況などを報告し、理事の皆さんの助言を受けながら取り組んだ。	キッズクラブ入会にあたって保護者と児童の不安を解消するため事前に数回、親子でキッズクラブに参加していただき在籍の児童と交流できるよう務めた。		
3 年目	2025、	放課後キッズクラブ 運営指針項目	②生活の場の確保	⑨人材の確保と養成	③子どもの安全確保	今年度より横浜市のデジタル化に伴い入室ソフト一斉更新のため保護者へ何回かにわけて説明会開催しました。と同時にキッズクラブの管理面でもDXが進み、戸惑うことも多くありましたが対応できるよう務めた。5時以降に残る児童が少なくなり、ほとんどの児童が帰宅してしまう6時以降児童についてはデジタル機器や動画鑑賞も積極的に取り入れています。その他できるだけ児童が楽しめるイベントなどを積極的に展開していきました。利用児童の増加に伴いスタッフも増員して配置しています。校庭遊びやキッズルームで遊ぶ時に児童の目につきやすいようビブスを着用することにしました。	最近では学校の低学年の帰宅時間が早くなりキッズクラブの滞在時間が長くなって慢性的にキッズルームのスペースが足りず児童の居場所確保が課題となっている。キッズクラブではできるだけ児童に校庭でのびのび遊べるよう取り組んでいる。評議会にてキッズクラブの現状を提案し学校の特別教室の使用について協力していただいた。長期休みの横浜市の弁当事業が始まるにあたって冷房の使える特別教室を確保できるよう図っていただいた。
		取組内容	生活の場として宿題等できる環境が望ましいがスペースの確保が難しく4時までは遊びの場、以降はおやつや宿題できる環境作りに取り組んだ。	キッズでは常に人材不足が課題にある。またキッズ特有の事情により責任感をもって見守りできる人材が最優先であるため一般の求人に頼らず事前に地域のネットワークを利用して人材を確保した。	キッズクラブの帰宅時の安全を守るため車での送迎をなくしスタッフ間でも児童の帰宅方向を確認し問題があればすぐに対処できるように努めた。		
		振り返り (こどもの意見の反映状況等)	4時以降は生活の場として、おやつの充実や宿題の時間の確保を最優先にとらえ、お迎えまでの時間はスタッフとゲームや会話を楽しみながら過ごせた。	長期勤務のスタッフの高齢化によりスタッフの入れ替えが多数生じた。よって慢性的な人材不足が常に課題にあるが、1日のシフトを組む上で経験豊富なスタッフを配置できるよう務めた。ミーティングを毎月開催し、スタッフの立ち位置やどのようにして子どもたちへの安全が確保できるか話し合った。	愛知県警のYouTube画像にて「防災クイズ」「防災ブザーの使い方」を参考に防災についてわかり易くもりやまTV(こども110番の家対応マニュアル編) -		
4 年目	2026、 R8	放課後キッズクラブ 運営指針項目					
		取組内容					
		振り返り (こどもの意見の反映状況等)					
5 年目	2027、	放課後キッズクラブ 運営指針項目					
		取組内容					
		振り返り (こどもの意見の反映状況等)					